

Ryu's Paper

リュウズ ペーパー

龍華図書館
2017年9月1日
創刊号(隔月発行)

Vol.1

いつも龍華図書館をご利用いただきありがとうございます。

この度、龍華図書館は図書館だよりを創刊いたしました。楽しく役に立つ情報をお届けして参ります。

生まれたばかりの「Ryu's Paper」どうぞよろしくお願いたします！

創刊号の特集は「龍華図書館周辺の石碑」をご紹介します。

普段何気なく目にしている石碑がどのようなものなのか、図書館の資料を使って調べてみました。

そこから見てくるものは、1,400年前の古代史の舞台となった八尾の姿でした。

シリーズ 図書館でめぐる郷土

第一回 『^{かぶら や づか}鏑矢塚・^{ゆみしろづか}弓代塚』

龍華図書館の近くに、「鏑矢塚」と「弓代塚」という石碑があります。これは、大聖勝軍寺付近に残された史跡です。

大聖勝軍寺は正式名称を「神妙棕樹山大聖勝軍寺(しんみょうりょうじゅさんだいせいしょうぐんじ)」といいます。この「棕樹山(りょうじゅさん)」という名は、物部軍に追われて逃げていた聖徳太子(しょうとくたいし)が「願わくばこの急難を救え」と祈願すると、太子のそばにあった棕の大木が突如真つ二つに割れ、その中に隠れて難を逃れたことに由来します。

当時、現在の八尾市一帯は、聖徳太子・蘇我馬子(そがのうまこ)軍と、物部守屋(もののべのもりや)軍が「仏教移入問題」をめぐる戦いを繰り返していました。「血で血を洗う」とまでいわれたこの争いに大きく貢献したのが、迹見赤檮(とみのいちい)という人物です。迹見赤檮は蘇我氏と物部氏の対立の中でとても重要な人物で、迹見赤檮が放った矢が守屋を射落とし、太子らに捕えられたことが物部家滅亡のきっかけとなったのです。捕えられた守屋は首をはねられ、戦は太子率いる「仏教賛成派」の勝利に終わりました。この時587年。太子はまだ14歳のときの出来事でした。そしてこの戦いを伝えるものとして、守屋を討ち取った矢が「鏑矢塚」、弓が「弓代塚」として今も残っています。

「鏑矢塚」の鏑矢というのは、矢の先端が植物のかぶらのような形をしている矢のことを言うそうです。

龍華図書館にお越しの際は、この石碑を見て「ここは戦地やったんやなあ」と、思いをはせてみてはいかがでしょうか。



龍華図書館所蔵 参考資料

- 『河内どんこう No.3』1976年11月 やお文化協会
- 『河内史談 1』1951年4月 東大阪新聞社
- 『八尾の史跡 増補版』2017年4月 やお文化協会
- 『Yaomania Vol.18』2017年2月 八尾市観光協会
- 『Wao!Yao!八尾の入り口』2013年3月
八尾市魅力満載 BOOK 制作委員会
- 『八尾から見た日本の歴史』1992年4月
八尾市教育委員会 教育相談所
- 『八尾の史跡説明板銘』2015年5月 やお歴史の民友の会石造物部会
- 『八尾市観光データベース <http://www.yaomania.jp/data/index.asp>』

【写真上】「鏑矢塚」
龍華図書館の入り口
北側。

【写真右】「弓代塚」
図書館から徒歩5分。

9月のTopics&Information

-Topics

本が破れてしまった… どうしよう？



図書館では1日に10～20冊が本の修理へとまわってきます。毎日、ページが外れてしまったり、破れてしまったりしたものを専用のテープや糊を使ってスタッフが修理をしています。なかなか数が減りません。そこで、ボランティアの方にお手伝いをお願いしています。

ボランティアの方は養成講座を受けて、今年4月からボランティアとして活動中です。

時々、破ってしまったとセロハンテープで補修をして、持ってきてくださる方もいらっしゃいますが、セロハンテープは茶色く変色し、テープ自体が劣化してしまうので、もし、本が破れてしまっても、補修せずにそのままの状態でお持ちください。



-Information 講座のご案内

バリアフリー上映会 「愛を積むひと」

●日時…2017年9月18日(月・祝)

●時間…14時～16時10分

●場所…龍華コミセン 集会室1・2

●対象…どなたでも

出演:佐藤浩市、樋口可南子、北川景子 他

※配慮が必要な方は申込時にお申し出ください。

バリアフリー上映会とは？

音声ガイドや字幕があり、ハンデを持った方もそうでない方も、みんなで楽しむことができる上映会です。

原作本『石を積むひと』

エドワード・ムーニー・Jr/著

杉田七重/訳 小学館/出版

妻に先立たれたジョーゼフは、「ツタに覆われた石塚が、少女の頃からずっとほしかった」という亡き妻の願いをかなえるために、残された人生の時間をすべて使ってひたすら石を積み…。ぜひ、原作を読んで上映会にお越しください！【TRCマークより】



今月の一冊はコレ!

「野の花さんぽ図鑑 木の実と紅葉」長谷川哲雄

まだまだ残暑厳しい9月。涼くなるのは遠いかもしれませんが、来る紅葉をさらに楽しむための本がこちら。色づきはじめた木の实や葉っぱや野鳥など、馴染みのあるものからめずらしいものまで、リアルで綺麗なイラストとともにたくさん解説されていて、パラパラと読んでいただけでも楽しめます。

神社やお寺での紅葉狩りはもちろん、ふだんの散歩まで楽しめるこの本を持って、季節を感じるおでかけをしてみたいかたがでしょうか？



発行・編集

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45

TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057

ホームページ <http://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、**いいね!**してください。

